

1 助動詞 英語 → 日本語

使い方

助動詞＋動詞の原形

意味

- can ～することができる
- may(2) ～しても良い、～かもしれない
- must(2) ～しなければならない、～のはずだ
- have to ～する必要がある
- should ～すべきである
- Shall we? ～しませんか
- will ～でしょう
- be going to ～するつもりだ
- Shall I? ～しましょうか

can の書き換え

be able to

must の書き換え

have to

will の書き換え

be going to

2 不定詞

不定詞と動名詞の意味と使い方

- 動名詞 doing ～すること
- 不定詞 to do ～すること、～すべき、～するため
 - ～すること 基本的に主語や動詞の目的語として使う
 - ～すべき 名詞の後ろにひっついて名詞の説明をする
 - ～するため なくてもいいもの、理由などを表す

不定詞と動名詞の両方を目的語にとれる動詞

like, start, begin

不定詞のみを目的語にとれる動詞

want, try, hope

動名詞のみを目的語にとれる動詞

enjoy, finish, give up

3 助動詞 日本語 → 英語

使い方

助動詞＋動詞の原形

単語

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| ● ～できる can | ● ～する必要がある have to |
| ● ～かもしれない may | ● ～すべきである should |
| ● ～はずである must | ● ～しませんか Shall we? |
| ● ～の可能性がある can | ● ～でしょう will |
| ● ～しても良い may | ● ～するつもりある be going to |
| ● ～しなければならない must | ● ～しましょうか Shall I? |

be going to の書き換え

will

have to の書き換え

must

be able to の書き換え

can

4 不定詞

不定詞と動名詞の意味と使い方

- 動名詞 **doing** ～すること
- 不定詞 **to do** ～すること、～すべき、～するため
 - ～すること 基本的に主語や動詞の目的語として使う
 - ～すべき 名詞の後ろにひっついて名詞の説明をする
 - ～するため なくてもいいもの、理由などを表す

不定詞と動名詞の両方を目的語にとれる動詞

like, start, begin

不定詞のみを目的語にとれる動詞

want, try, hope

動名詞のみを目的語にとれる動詞

enjoy, finish, give up

第 1 文型

形

SV

第 3 文型

形

SVO

第 2 文型

形、関係、動詞の例

SVC、S=C、be 動詞や以下

動詞

- look 〜のように見える
- taste 〜のような味がする
- smell 〜になる
- sound 〜のように聞こえる
- keep 〜に保つ
- get 〜になる
- seem 〜のようである
- become 〜になる

第 4 文型

形、第 3 文型への書き換え

SVO1O2、SVO2 to(for) O1

動詞

- give 与える
- show 見せる
- tell 伝える
- buy 買う
- teach 教える
- cook 料理する
- make 作る
- send 送る

*書き換える時の前置詞 2、どれがどれか

to give, show, teach, tell, send

for buy, cook, make

*目の前に人がいないとその動作ができない時は to、いなくても良い時は for

第 5 文型

形、関係

SVOC、O=C

動詞

- make A を B にさせる
- find A が B とわかる
- leave A を B のままにする
- call A を B と呼ぶ
- paint A を B に塗る
- name A を B と名付ける
- keep A を B に保つ

進行形 (意味、表現) —

be doing、～しているところです、now や then を使う

*doing のみでは進行形ではない、doing は動詞の役割はなくなる

～がある (表現、使い分け) —

- There is 単数.
- There are 複数.

感嘆文 (意味、表現 2、使い分け) —

- How 形容詞 (S V)!
- What a 形容詞 名詞 (S V)!

動名詞 (意味、表現) —

doing、～すること

不定詞の基本 (意味 3、表現) —

to do、～すること・～するべき・～するため

～すること 基本的に主語や動詞の目的語として使う

～するべき 名詞の後ろにひっついて名詞の説明をする

～するため なくてもいいもの、理由などを表す

比較級 (意味、表現、よく使う前置詞とその意味) —

～より～だ、more 形容詞/形容詞 er、than(～より)

最上級 (意味、表現、よく使う前置詞と違い) —

一番～だ、most 形容詞/形容詞 est、in 集団/of 数字 (～のなかで)

比較級・最上級の不規則変化、good/well/many/much/bad/little/few —

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ● good/well better best | ● bad worse worst |
| ● many/much more most | ● little/few less least |

同等比較 (意味、表現) —

as 原級 as 比較対象、～と同じくらい～だ

not as 原級 as、～ほど～ではない

比較級・最上級の慣用表現 —

- | | |
|---|----------------------------|
| ● ～の X 倍 X times as 原級 as | can |
| ● だんだん～ 比較級 and 比較級 | ● どの～よりも than any other 名詞 |
| ● できる限り (2) as 原級 as possible, as 原級 as you | |

疑問詞 +to do(表現 5、意味) —

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| ● how to do どうやってすべきか | ● when to do いつすべきか |
| ● where to do どこですべきか | ● which 名詞 to do どれをすべきか |
| ● what to do 何をすべきか | |

第四文型 (それぞれの動詞や表現と意味)

- 語順 **SV 人物**
- 書き換えとその時の前置詞 **SV 物 to(for) 人**
- 動詞の例 (3)

to give, show, teach, tell, send

for buy, cook, make

＊目の前に人がいないとその動作ができない時は to、いなくても良い時は for

受け身 (意味、表現、よく使う前置詞とその意味)

be 過去分詞、～される、by(～によって)

*過去分詞は動詞の役割はなくなる

受け身の応用

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| ● ～に興味がある be interested in | ● ～に知られている be known to 人 |
| ● ～に驚く be surprised at | ● ～で知られている be known to 物 |
| ● ～で覆われている be covered with | ● ～に満足する be satisfied with |
| ● ～に話しかけられる be spoken to by | ● ～でいっぱいだ be filled with |

現在完了形 (表現、意味 3、よく使う副詞とその意味 9)

have 過去分詞、～した、～したことがある、～し続けている

完了用法 ～した **yet**(疑問文：もう、否定文：まだ)、**already**(すでに)、**just**(ちょうど)

継続用法 ～し続けている **for**(～間)、**since**(～から)、**How long** 疑問文?(どのくらいの間～)

経験用法 ～したことがある **ever**(今までに)、**never**(決してしたことがない)、**once, twice, three times, many times**(1回、2回、3回、何回も)、**How many times** 疑問文 ?, **How often** 疑問文?(何回したことがありますか?)

間接疑問文 (表現)

疑問詞 主語 動詞、**who** 動詞

第五文型

- 語順 **S V A B**
- 動詞の例 (3)

— **make A** を **B** にさせる

— **call A** を **B** と呼ぶ

— **name A** を **B** と名付ける

不定詞の応用 (それぞれの動詞や表現と意味)

- ～することは～にとって～だ **It be 動詞 形容詞 for 人 to do**
- 動詞 人 to do(3)
 - **tell 人 to do** 人に～するように言う、命令文の書き換え
 - **ask 人 to do** 人に～するように頼む、Please の命令文の書き換え
 - **want 人 to do** 人に～して欲しい、**Shall I? = Do you want me to do?**
- 動詞 人 do(3) 使役動詞 **make, let, have** 人に～させる
- 動詞 人 do でも動詞 人 to do でもいいの **help**
- ～するには十分～だ 形容詞 **enough to do**
- ～するには～すぎる **too 形容詞 to do**

分詞 (意味 2、表現 2、使い分け)

過去分詞 (～される) と現在分詞 (～している)

分詞のみなら名詞の前、複数語なら名詞の後ろに置く

関係代名詞 (表現 3、使い分け)

先行詞 関係代名詞 文 *関係代名詞の文は先行詞にあたるものがなくなる。

関係代名詞の後ろが主語動詞の場合は省略可能

- which ものの時に使う
- who 人の主格に対して使う
- that なんでも使えるが the などがついて先行詞が特定されている時にはよく使う
- whom 人の目的格に対して使う
- whose 所有格に対して使う

仮定法 (意味、表現、違い)

ありえないことを言う時に使う、あり得る時は現在形で書く。if の中に will や would は絶対に来ない

- If 主語 動詞の過去形, 主語 would(could) 動詞. もし～だったら、～なのになあ
- 主語 wish 主語 動詞の過去形 ～だったらいいのになあ

前置詞

意味	単語	意味	単語	意味	単語
～の上に	on	～で、～に	at	～の間に（時間）	for
～の下に	under	～といっしょに	with	～の間に（時間）	during
～の中に	in	～の	of	～の間に（場所）	between
～の中へ	into	～のために	for	～の後に	after
～の近くに	near	～によって	by	～の前に	before
～のそばに	by	～のように	like	～について	about
～から	from	～にとって	for	～まで	until
～へ	to	～なしで	without	～までに	by
～以来	since				

接続詞

意味	単語	意味	単語	意味	単語
～と	and	もし～ならば	if	～の前に	before
しかし	but	～の間に	while	～の後に	after
しかし	however	～の時	when	～ということ	that
～か	or	なぜなら	because	だから	so
～だが	though/although				

差がつく前置詞

意味	単語	意味	単語	意味	単語
～以内に	within	～後に	in	～として	as
～に反対して	against	～賛成して	for	～を通して	through
～の間に（三つ以上）	among	～の上方に	over	～を横切って	across

接続詞と前置詞の違い

接続詞 後ろに S V

前置詞 後ろに名詞